

報告日 令和5年9月20日
報告回次 1日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鎌倉市教育委員会			代表者名	太田 洋
担当者部署	教育指導課			連絡先電話番号	0467-61-3816
担当者役職	指導主事	担当者氏名	濱地 優	連絡先E-mail	
住所	248-0012 神奈川県鎌倉市12-18				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

アドバイザー	平井 聰一郎
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようによかったです等詳細に）	時代背景、学習指導要領に基づく大局的な講和とともに、具体的な授業の講和もあり、有意義であった。また、情報活用能力の育成を目指すとともに、それを通じた資質・能力の育成という目標を各教科で明確にするよう話があり、各教科で目標を明確にして授業を行うようアドバイスがあった。
アドバイザーへの要望事項	教員の研究に対する動機が高まっている。今後も継続した関わりで、より深く研究に取り組めるよう支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月19日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	17時00分	
				活動時間（分）	240
派遣場所	会場名	鎌倉市立深沢中学校		最寄駅	湘南深沢
	所在地	鎌倉市梶原1-14-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	教職員	30 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	今後の課題として、教師が子どもの学びを促進するための、課題づくり、教師行動について研修	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	目指す成果として、これから求められる探究的な授業構築。 ICTを活用し、教師、児童・生徒が端末を効果的に使いながら、学びの促進。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	授業を振り返る視点、教科のねらいを明確にしながら、探究的な学びを行っていくことの必要性とともに、そのために教師の授業での課題設定が大切であること。 また、参観された授業それぞれのよい点、課題点の指摘から、授業改善のヒントを受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	授業について内省できる視点を得たことで、教師自身がメタ認知しながら授業改善を行うことを期待できた点。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	授業での課題づくりの重要性について、それぞれの教師の認識が変容したものの、具体的にどのような課題が探究を促すのか、また、探究プロセスでの教師の役割、行動について新たな課題がたちあがった。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 共有ソフトを使用し、協議会において授業の感想等を共有したため。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	こどもの探究が促進するように、教師が効果的な課題を提示し、授業の中での教師行動の方法について、教師が研究を深めること。

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

